

日本計画行政学会 第49回全国大会 プログラム

1. 日 時

2026年9月4日(金)～5日(土)

2. 場 所

熊本大学 黒髪北地区 全学教育棟 2F (各教室にて学内 Wi-Fi を利用できます)

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 40-1

別紙地図参照

【熊本市内での交通移動について】

阿蘇くまもと空港と熊本市内を結ぶバス等の交通機関、および熊本市内を運行するバスでは、Suica・PASMO・ICOCA などの全国相互利用可能な交通系 IC カードはご利用いただけません。代わりに、現金、くまモンの IC カード、またはクレジットカード等によるタッチ決済が利用可能です。ご利用の際には、あらかじめご留意くださいますようお願いいたします。

3. 大会テーマ

災害への備えと計画行政

4. 大会実行委員会

大会実行委員長	池田康弘(熊本大学)
大会実行委員長補佐	猪俣雄也(熊本大学)
大会運営委員長	竹川克幸(日本経済大学)
大会運営副委員長	井寺美穂(熊本県立大学)
大会顧問	今泉博国(福岡大学)
大会運営委員	井田貴志(熊本県立大学) 大井尚司(大分大学) 太田智之(日本経済大学) 大谷健太郎(名桜大学) 片山健介(長崎大学) 金子満(鹿児島大学) 坂元洋一郎(長崎県立大学) 佐々木正廣(日本経済大学) 辰己佳寿子(福岡大学) 吉住修(熊本市) 芳賀普隆(長崎県立大学) 森田泰暢(福岡大学) 山田雄三(福岡大学)
プログラム委員長	南 博(北九州市立大学)
プログラム副委員長	川瀬晃弘(東洋大学)
プログラム委員	宗像優(九州産業大学) 柳永珍(福岡大学)

5. 大会趣意

第49回の本大会は、2016年の熊本地震から10年という節目の年に、熊本の地で開催いたします。震災から時が経つにつれ、私たちは平穏な日常に慣れ、変化を避けようとする「現状維持バイアス」や、「起ってほしくないことは起こらない」と信じてしまう心理的な罠に陥りがちです。しかし、物理学者寺田寅彦の「天災は忘れた頃にやってくる」という警句は、こうした人間の心の

隙を鋭く戒めています。

そこで本大会では、「災害への備えと計画行政」をテーマに掲げました。人間の心理的特性を踏まえつつ、頻発・激甚化する自然災害に対し、行政・市民・専門家がいかに備え、いかに創造的な復興と未来を構想していくべきかを、多角的な視点から議論します。

あわせて本学会の設立趣意に立ち戻り、観察（帰納）、理論（演繹）、実践、再観察（帰納）という循環的発展の思考を重視し、現実と理論を往還する学問的・実践的深化を目指します。

6. スケジュール

■ 全体スケジュール *研究会報告・ワークショップ企画の詳細は別紙参照

第1日目:2026年9月4日(金) 全学教育棟2階

時 間	プログラム
09:00~	大会参加受付(会場配布ネームホルダーにお名刺を入れてください)
10:00~11:30	セッションⅠ(研究報告/ワークショップ企画)
11:30~13:00	理事会(B201)/昼休み
13:00~13:30	開会式・「学会賞」授賞式
13:30~15:30	学会創立50周年に向けたシンポジウム(基調講演・パネルディカッション)
15:30~15:45	休憩
15:45~17:45	セッションⅡ(研究報告/ワークショップ企画)
17:50~19:30	意見交換会(懇親会)(会場:熊本大学内くすのき会館)

第2日目:2026年9月5日(土) 全学教育棟2階

時 間	プログラム
09:00~	大会参加受付(会場配布ネームホルダーにお名刺を入れてください)
09:30~11:30	セッションⅢ(研究報告/ワークショップ企画)
11:30~13:00	昼休み
13:00~14:30	セッションⅣ(研究報告/ワークショップ企画)
14:35~15:05	閉会式・「全国大会発表賞」授賞式

*意見交換会の会費は事前予約(支払い)は不要です。当日、意見交換会会場(くすのき会館)の入り口の受付にて会費(4000円)をお支払いください。

7. 大会参加費

一般会員(全国大会参加費)	3,500円(当日受付は4,000円)
学生会員(全国大会参加費)	1,000円(当日受付は2,000円)
非会員(全国大会参加費)	4,000円(当日受付は4,500円)

【申込および振込み期限】2026年8月27日(木)

※期限以降のご参加につきましては当日受付のご利用をお願いいたします。

■第1日目シンポジウム

学会創立 50 周年に向けたシンポジウム 「計画行政の体系化に向けて」

開催概要

日時:2026 年 9 月 4 日(金)13:30~15:30

場所:熊本大学 黒髪北地区 全学教育棟 2F E205

プログラム内容

司会、開会挨拶・趣旨説明

川瀬 晃弘（東洋大学、記念事業担当理事）

コーディネーター

山本 佳世子（電気通信大学、専務理事）

基調講演「私が考える計画行政」

西川 雅史（青山学院大学、会長）

コメント

徳永 幸之（宮城大学、東北支部前副支部長）

戸田 敏行（愛知大学、中部支部長）

武者 加苗（札幌大学、北海道支部長）

パネルディスカッション

西川 雅史・徳永 幸之・戸田 敏行・武者 加苗

■第2日目シンポジウム

＊当初予定しておりました第2日目のシンポジウム（基調講演・パネルディスカッション）は登壇者の令和8年熊本地震対応のため中止としました。

（以下中止となりました）

基調講演・パネルディスカッション詳細

来賓あいさつ：益城町、熊本市、八代市、御船町、開催校

【基調講演】

講演者：西村 博則 氏（熊本県益城町長）

題目：「熊本地震から10年、そして未来へ ～益城町の更なる創造的復興を目指して～」

講演内容：熊本地震発生から10年の節目に、復興の軌跡を振り返ると共に、町の未来像と創造的復興に向けたビジョンをご講演いただきます。

【パネルディスカッション】

テーマ：「災害への備えと計画行政」

概 要：自治体首長、気象予報士、学識経験者等の各分野の専門家を招き、現場での経験や課題、専門的知見を交えて「災害への備え」について議論します。

モデレーター：池田 康弘 氏（九州支部長・本学会理事・熊本大学教授）

パネリスト：伊藤 暢章 氏（熊本市政策局危機管理防災部長）

パネリスト：小野 泰輔 氏（八代市長）

パネリスト：早田 蛍 氏（気象予報士・気象防災アドバイザー）

パネリスト：山本 佳世子 氏（本学会専務理事・電気通信大学教授）

日本計画行政学会第49回全国大会 研究報告・ワークショップ プログラム

ver.5

2026年8月30日時点

※8/25公開のver.4からの変更点は赤色にしています(セッションIV-1、IV-2)。

1本あたり報告時間について

- ・研究報告30分(報告:15分、質疑応答:12分、交代:3分)
- ・ワークショップ企画90分

注:○は報告者、■は発表賞有資格者。

【1日目: 9月4日(金)】10:00~11:30 セッションI

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	C-204	E-205
セッション	セッションI-1	セッションI-2	セッションI-3	セッションI-4	セッションI-5	
テーマ	環境	経済	地方議会	防災I	観光I	
座長 (五十音順)	中村匡克(高崎経済大学) 芳賀普隆(長崎県立大学)	川崎一泰(中央大学) 坂元洋一郎(長崎県立大学)	宮下量久(東洋大学) 森田泰暢(福岡大学)	菅正史(下関市立大学) 松丸亮(東洋大学)	岩淵泰(岡山大学) 森下英治(愛知学院大学)	
10:00~10:30		ベンチャーキャピタルの東京一極集中はどのように形成されたのかー日本におけるVCクラスター形成メカニズムの実証分析ー	地方自治体における意見書の議決とその横展開の要因ーSituating Attentionの視角からの分析ー	フィジー共和国における広域防災システム整備計画にみる要請型とオファー型援助事業の類似事業の比較	宿泊税における定率制や税額引き上げの動きー公平、中立、簡素の観点からの分析ー	
		○■寺山 棕(日本大学大学院D1)	○■藤井優多(一橋大学大学院D2)	○■小串博史(長崎県立大学大学院D2)	○甘長青(九州共立大学)	
10:30~11:00	基礎自治体を対象とした生物多様性施策の自走化条件に関する質問紙調査	離島部の小規模集落における食料アクセス方法の検討ー対馬・豊浦区購買部の運営記録の分析からー	政治活動用立て看板の設置行動分析ー東京特別区の区議会議員選挙における制限付き最適化の検証	防災行動意図は防災行動につながるかー岡山地域における長期パネルデータによる実証的検討ー	にぎわいはなぜ生まれたのか?ー岡山県矢掛町まちづくり史の分析ー	
	○■福田愛紗(立教大学大学院M2)	○■青木天翔(大和大学B3)	○■坂本東生(青山学院大学大学院D3)	○神田将志(岡山理科大学)	○岩淵泰(岡山大学)	
11:00~11:30	みどりの保全についての市町村計画と各アクターの役割の変遷ー東京都多摩市におけるみどりの基本計画を対象にー	低所得者の利便性を高める税制構築に関する検討	市町村連携の阻害要因に関する計量分析ー市町村議員を対象にしたアンケート調査からの検証ー	熊本地震がもたらした制度の変化と課題	ガバナンスの観点から見た住民と移住者の関係構築に向けた行政の役割ー北海道東川町を事例に	
	○■渡部友賀(一橋大学大学院M2)	○谷川喜美江(千葉商科大学)	○鷲見英司(日本大学)、宮下量久(東洋大学)	○■北村知史(関西外国語大学)	○森重昌之(阪南大学)	

注:○は報告者、■は発表賞有資格者。

【1日目：9月4日(金)】15:45～17:45 セッションⅡ

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	C-204	E-205
セッション	セッションⅡ-1	セッションⅡ-2	セッションⅡ-3	セッションⅡ-4	セッションⅡ-5	セッションⅡ-6
テーマ	農業	共生社会	交通	観光2	人材	ワークショップI
座長 (五十音順)	佐藤秀樹(福岡女子大学) 鷲見英司(日本大学)	太田智之(日本経済大学) 辰己佳寿子(福岡大学)	有元勇人(計量計画研究所) 味水佑毅(流通経済大学)	関口駿輔(東京国際大学) 錦織良匡(千葉県)	井寺美穂(熊本県立大学) 正岡利朗(高松大学)	地域遺産としての災害の記憶と観光、 ガバナンスの在り方について
15:45～16:15	コメがつなぐ持続可能な社会基盤— 官民連携による食文化・環境施策の 再構築—	外国人労働者の受入れから定着へ— 地方公共団体の多文化共生施策と 企業支援の現状分析—	徳島市多家良地区におけるコミュニ ティバス運行計画の立案と試験運行	地域観光の担い手拡大に向けた未関 与層の意識調査 — 観光への関心と参加意向に関す るアンケート調査から	国内外の住民自治組織における住民 教育システムを踏まえた地域公共人 材育成モデルの再構築	
	○巽俊樹(大和大学B4)、立花晃 (大和大学)、天野健作(大和大学)、 清水麻弘(大和大学B4)、田中悠衣 (大和大学B3)	○■尾中政憲(追手門学院大学大 学院D3)、藤原直樹(追手門学院大 学)	○山城新吾(徳島文理大学)	○大津知士(宮城大学)、中沢峻(宮 城大学)、佐々木秀之(宮城大学)	○■楊豊(福岡大学大学院D3)	
16:15～16:45	都市農業振興計画における「振興」 の意味と地域特性の実現	在日外国人における防災とエスニッ ク・コミュニティ	人ロデータとバス乗降調査データを 活用したバス路線課題把握手法に関 する研究	店舗のブランド化による観光客の回 遊促進の可能性	日本の市におけるデジタル人材の採 用や育成にかかわる方針や計画の策 定状況	
	○■菊池隆聖(一橋大学大学院 D1)	○太田智之(日本経済大学)	○森谷健太(宮城大学大学院D3)、 高橋信人(宮城大学)、徳永幸之(宮 城大学)、蒔苗耕司(宮城大学)	○■ユウ イホウ(福岡大学大学院 M2)、森田泰暢(福岡大学)	○本田正美(関東学院大学)	
16:45～17:15	市場メカニズムと相反した土地利 用の成立条件に関する分析 —都市内 部で新たに創出された農地に着目し て—	外国人留学生の地域活動に対する参 加動機と交流を通じた意識変化 —	交通政策における「移動」概念に関 する研究～政府報告資料を対象とし た分析～	過疎地域における「生存戦略」とし ての観光計画論-国の観光政策の「ミ スマッチ」と自治体行政計画の再構 築—	正課外PBL経験の長期的効果に関 する予備的分析:W大学卒業生への 調査に基づく中間報告	
	○■長縄海広((-財)土地総合研 究所)、○■寺山棕(日本大学大学院 D1)、○■菊池隆聖(一橋大学大 学院D1)	○秋山千恵(宮城大学大学院M2)、 中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮 城大学)	○■名嘉真千景(一橋大学大学院 M1)	○■金見翔太(徳島文理大学大 学院M2)	○黒木宏一(九州産業大学)、佐賀 孝博(育英館大学)	
17:15～17:45	「災害時の安心感を高める連携拠 点としての都市近郊農村の研究—稲敷 市の有機米農家を中心に—」	ビジネスケアラーに関する計画行政— 宮津市における調査を通して—		自治体による食文化資源を活用した 地域ブランド政策の展開 —喜多方市と南陽市のラーメン課を 事例として—		
	○■餅田宏喜((-社)東北ソー シャルデザイン研究所)、鈴木佳文((- 社)東北ソーシャルデザイン研究所)、 風見正三(宮城大学)	○川島典子(福知山公立大学)		○■永井琉太(大和大学)、立花晃 (大和大学)		

注：○は報告者、■は発表賞有資格者。

【2日目：9月5日(土)】09:30～11:30 セッションⅢ

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	C-204	E-205
セッション	セッションⅢ-1	セッションⅢ-2	セッションⅢ-3	セッションⅢ-4	セッションⅢ-5	セッションⅢ-6
テーマ	子ども	合意形成	EBPM, DX	防災2	都市計画1	ワークショップ2
座長 (五十音順)	石村知子(豊中市) 金子満(鹿児島大学)	今泉博国(福岡大学) 松野由希(淑徳大学)	朴堯星(統計数理研究所) 松村豊大(徳島文理大学)	高木超(北九州市立大学) 山本佳世子(電気通信大学)	南博(北九州市立大学) 柳永珍(福岡大学)	
09:30～10:00	地域住民による非専門的な子ども・子育て支援としての〈見守り〉に関する考察—「朝のこどもの居場所づくり事業」に着目して— ○■毛塚泰樹(一橋大学大学院D3)	ワークショップにおけるファシリテーションを支援するICTツールの適用可能性に関する検証 ～TACHI-NO-VOICEを事例に～ ○菅原菜唯(宮城大学大学院博士前期課程2026年3月修了)、中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)	自治体における施策・計画立案段階での方法・研究手段のスクーピングレビュー ○■森本大貴(芝浦工業大学大学院M2)、市川学(芝浦工業大学)、藤田楓(芝浦工業大学)、坂東凜音(芝浦工業大学大学院M1)、鉾建温人(芝浦工業大学B4)	地域住民の協働を促す政策要件としての地区防災計画に関する考察 ○■坂本紫音(立命館大学大学院M1)、井ノロ宗成(立命館大学)、徳丸宜穂(関西大学)	地方政令指定都市を発地とした地方間テレワーク移住の要因に関する考察—コロナ禍からコロナ後における山口市を事例として— ○■山本悟(山口大学大学院D2)	災害に備えて～熊本地震を踏まえて～ 坂元洋一郎(長崎県立大学)、○芳賀普隆(長崎県立大学)、松下愛(長崎県立大学)、鷹巣心音(させば防災ネットワーク)、渋谷香奈(させば防災ネットワーク)、直木隆一郎(させば防災ネットワーク)
10:00～10:30	義務教育学校が学力等に与える影響—自治体データを用いた定量分析 ○石村知子(豊中市)	ワークショップにおけるファシリテーターの葛藤と実践知 ～まちづくり・災害復興の現場におけるインタビュー分析～ ○■佐藤充(宮城大学大学院M2)、中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)	「デジタル化の進展は生活満足度を高めるか：地域幸福度指標を用いた実証分析」 ○■丹羽里美(名古屋市立大学大学院M2)、原田峻平(名古屋市立大学)	災害時の自治体間支援における経験知の活用可能性—令和6年能登半島地震での対応を事例として ○高木超(北九州市立大学)	なぜ豊橋市においてアリーナの建設をめぐる住民投票が行われたのか？ ○■小杉亮太(一橋大学大学院D2)	
10:30～11:00	基礎自治体における子ども関連データを活用した調査研究プロジェクトの成果と課題 ○比嘉康則(豊中市)	社会的合意の形成におけるスクーピングレビュー ○■林紘大(芝浦工業大学大学院M2)、瀬川千尋(芝浦工業大学大学院M1)、鉾建温人(芝浦工業大学B4)、藤田楓(芝浦工業大学研究員)、市川学(芝浦工業大学)	EBPMにおける分析過程の管理に関する一考察—内製分析と説明責任の観点から— ○■田原英典(筑波大学大学院科目履修生)	東日本大震災の記憶の持続可能な伝承に関する考察 ○柳津英敬(東北大学)	吹田市の公共施設における空間配分の最適化に関する研究～男性の小便器利用の行動規範と女性トイレ混雑に着目して～ ○■永利颯志(大和大学B4)、立花晃(大和大学)	
11:00～11:30		高レベル放射性廃棄物処分場選定における地域規範と手続的公正—北陸地域における「和」の尊重と合意形成に向けた住民参加— ○斎藤英明(北陸大学)	AI音声調査システムによる疑似面接調査手法の実用可能性に関する実験 ○朴堯星(統計数理研究所)、前田忠彦(統計数理研究所)、持橋大地(統計数理研究所)	災害後のコミュニティに対する人的支援施策の比較分析～総務省・復興支援員制度を中心として～ ○中沢峻(宮城大学)	非定住型ステークホルダーを地域振興の担い手として制度化する計画行政モデル—「大刀洗町パートナー企業」制度による人材共創まちづくり計画を事例に— ○■山田貴裕(大刀洗町/慶應義塾大学SFC研究所)、藪内真由(大刀洗町/慶應義塾大学SFC研究所)、玉村雅敏(慶應義塾大学)	

注：○は報告者、■は発表賞有資格者。

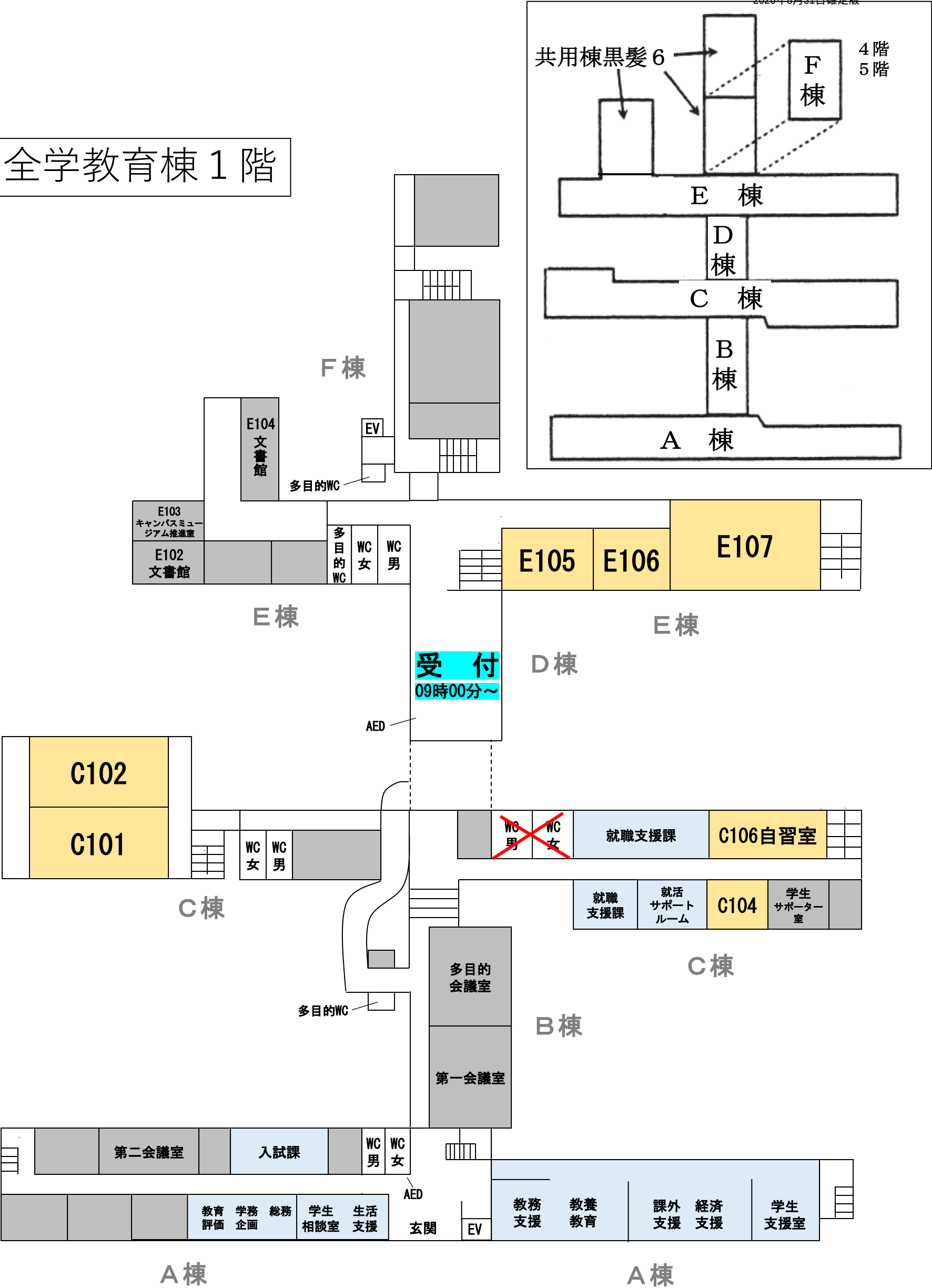
【2日目：9月5日(土)】13:00～14:30 セッションⅣ

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	C-204	E-205
セッション	セッションⅣ-1	セッションⅣ-2	セッションⅣ-3	セッションⅣ-4	セッションⅣ-5	セッションⅣ-6
テーマ	市民生活	産業	計画論	防災3	都市計画2	ワークショップ3
座長 (五十音順)	川瀬晃弘(東洋大学)	岩本直(周南公立大学)	瀬田史彦(東京大学)	小野聡(千葉商科大学)	白川慧一(敬愛大学)	熊本県御船町震災復興計画と地域コミュニティとの連携～ありがとう行政と恩繋防災～ ファシリテーター：竹川克幸(日本経済大学)、藤木正幸(御船町長)、藤木せら(御船町・藤木屋)、姜来秀(日本経済大学・㈱QuickConnect)
	中沢峻(宮城大学)	黒木宏一(九州産業大学)	村上裕一(北海道大学)	小松真治(石巻専修大学)	矢部拓也(徳島大学)	
13:00～13:30	「幸せを実感するとき」からウェルビーイングを考えるー市民へのインタビュー調査を通じて	陶磁器産地の持続可能性に関する比較考察ー原料枯渇時代における継承モデルの分析からー	社会変容時代における自治体総合計画の再定義ーレジリエントな地域社会形成に向けてー	緊急輸送道路の道路啓開を目的とした沿道空き家除却の最適化	人口減少下における成長型郊外住宅開発からの戦略的撤退	
	○平田誠一郎(豊中市)	○立花晃(大和大学)	○畑正夫(神戸国際大学)	佐藤佳乃(日本郵便株式会社)、石井儀光(国土総合研究所)、○大澤義明(麗澤大学)	○植村哲士(文京学院大学)	
13:30～14:00	若年層の出生意識は政策情報によって変化するのか：福岡市の出産・子育て支援情報を用いた事前・事後分析	日本の旧石炭産出地域の現状と課題ー産炭地域振興政策終了後20年の経過を踏まえてー	総合政策学の再定位と計画行政ー学際的研究推進の困難さー	2025年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報時の避難経路集中ー石巻市渡波・万石浦地域における来訪者数変化の分析ー	人口減少・超少子高齢化時代の都市政策とコンパクトシティ：理念と制度の不整合に関する考察	
	○柳永珍(福岡大学)	○岩本直(周南公立大学)	○松村豊大(徳島文理大学)	○小松真治(石巻専修大学)	○藤岡裕大(京都先端科学大学)	
14:00～14:30	滋賀県沖島における生活基盤支援モデルの提案ーウェルビーイングとコミュニティの持続可能性の両立ー	商店街の防災対応に関する事例研究ー東洋史観の枠組みによる支援施策への考察ー	制度を超えて公共交通を論じる：行政学者による教科書執筆の実験	マルチエージェントシステムによる災害廃棄物の仮置場立地に関する検討	市町村による都市計画決定情報GISオープンデータの取り組み状況とその背景要因	
	福田美紀(びわこ学院大学)、○立花晃(大和大学)、天野健作(大和大学)、得能弘一(大和大学)	○鈴木佳文((一社)東北ソーシャルデザイン研究所)、餅田宏喜((一社)東北ソーシャルデザイン研究所)、風見正三(宮城大学)	○村上裕一(北海道大学)	○小野聡(千葉商科大学)、多島良(国立環境研究所)	○白川慧一(敬愛大学)	

熊本大学黒髪北地区案内図



全学教育棟 1 階



全学教育棟 2 階

大会会場

